



ことしば



【学校教育目標】 「挑戦し、未来を拓く『琴芝っ子』の育成」

1月号

節目の年に

校長 藤 本 満 士



 新年あけましておめでとうございます。穏やかな新春を迎え、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。とはいえ、コロナ禍も4年目に突入してしまいました。学校という集団生活の中での人と人との過ごし方を学ぶ貴重な場や家庭以外の様々な年齢の友達や先生と共に生活するための学びの場が、過去3年間という長きに渡り制約を受けて過ごさなくてはならないのは大変残念なことでもあります。with コロナという言葉もありますが、様々な制約の中で可能な限りの子どもたちの成長に関してできることを知恵を絞りながら実現していくことを新年の抱負としてお約束したいと思います。

「節目」という言葉は、元々は「材木の節があるところ」の意味です。そこから意味が転じて、「区切りとなる大切なところ」という意味に使われるようになりました。特に、竹の「節目」がたとえとして挙げられますが、竹は長いものになると20mを超えるほど伸びます。ご存じのように竹は円筒形をしていて中は空洞ですが、これを支えているのが一つ一つの節です。竹にはタケノコの頃から60個ほどの節があり、そこに成長点があるので、これがないと伸びられない性質をもっているそうです。そして、円筒形の空洞の中に「節目」を作ることによって伸びた自身の身を強化し、反りにも強く、成長を助ける働きをしているということです。



人間にとっても「節目」は、それがあつていつまでもだらだらとせずに、気持ちを切り替えるけじめとなったり、一つの目標地点となったりするなど、成長の上で大きな意味をもちます。一年の始まりや各学期の始まり、大きな行事の後などは、これまでの自分を振り返ったり、これからの自分のあり方を考えたりすることができ、子どもたちにとっても「節目」を作りやすい機会です。

新たな年の幕開け、そしてそれぞれの学年のまとめの時期である三学期のスタートに、しっかりと「節目」を作って進んでいけることを願っています。学校でも、子どもたちのがんばりを認め、励まし、一人一人の成長を見守っていくために教職員一同力を合わせて向かっていきます。三学期も、ご家庭のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「YOUメッセージ」と「Iメッセージ」～気持ちの伝え方～

子どものことを心配するあまり、つい口うるさくなってしまうという親は少なくありません。ガミガミ言うのはよくないとわかっているけれど、そうはいっても、言いたいことも言わずに我慢していたら、ストレスがたまって、最後には親も爆発してしまいます。もっとうまく子どもに気持ちを伝えたい、親の本音も伝えつつ、子どもとうまく話ができれば…、そう感じている保護者の皆さんにおすすしたいのが、「YOUメッセージ」と「Iメッセージ」を区別して話すことです。この2つのメッセージ（伝え方）の違いは、話の主語を相手（子ども=YOU）にするか、自分（=I）にするかの違いです。

「YOUメッセージ」主語を「あなた」（子ども）にすると、「どうして～できないの」と詰め寄る口調になったり、「～しなさい」と命令する口調になったりしがちです。子どものことが心配で話しかけているのに、子どもにとっては、叱られている、非難されていると感じる言い方になってしまいます。いつもこういう話し方だと、子どもが「またいつものか」と聞く耳をもたなくなる傾向もあります。例えば、あなた（子ども）を主語にするとこんな言い方になります。「あなたは、ゲームばかりやっていて、全然、勉強しないけど、宿題はちゃんとやってあるの!」「Iメッセージ」主語を自分にして「お母さんは～なの」というように、自分自身の気持ちを伝えるという立場で話をすると、子どもを責めるニュアンスが薄くなります。



例えば、自分を主語にするとこんな言い方になります。「お母さんは、ゲームばかりやっていて、全然、勉強していないあなたを見て、宿題をちゃんとやってあるのか心配になるの。」「YOUメッセージ」と「Iメッセージ」で、雰囲気がいだいぶ違うことがご理解いただけると思います。もちろん親も人間ですから、「Iメッセージ」のように、いつもこんなに冷静に話すことができるわけがありません。ときには爆発して、「YOUメッセージ」ばかりになり、ガミガミ、ガンガン怒鳴ってしまうこともあります。しかし、きつい言い方をしてしまつて、「ああ、また言いすぎちゃった」と反省したら、冷静になって「Iメッセージ」に切り換えると、「お母さん、腹が立って言い過ぎちゃった。」と伝えることもできると思います。子どもに自分の気持ちを伝えようと思うその一方で、「もっとしっかりしてよ」と思うのは、親として当然です。しかし、「しっかりしてよ」ばかりですと、それを聞き続ける子どもはつらくなります。

腹立たしい気持ちもあるけれど「心配しているよ」「あなたの力になりたいんだよ」と思っていることを伝えていくことが、「お父さんやお母さんは、自分のことを大切に思ってくれている」と、子どもが感じることになり、よりよい親子関係をつくることにつながるのではないのでしょうか。





1月の行事予定



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事の急な変更などがあるかもしれません。ご理解とご協力をお願いいたします。

日 曜	学 校 行 事 等	日 曜	学 校 行 事 等
1 日	(祝)元日	16 月	薬物乱用ダメ！ゼツタイ！教室(6年)
2 月		17 火	
3 火		18 水	クラブ活動 (3年クラブ見学)
4 水	学校閉庁日	19 木	子ども夢教室(3年)
5 木		20 金	
6 金		21 土	
7 土		22 日	
8 日		23 月	
9 月	(祝)成人の日	24 火	給食週間 (～30日)
10 火	始業式 給食開始 (4時間授業) 口座振替	25 水	代表委員会
11 水	職員会議(5時間授業)	26 木	租税教室(6年)
12 木	ALT(4年、6年)	27 金	
13 金	委員会活動	28 土	
14 土		29 日	
15 日		30 月	
		31 火	

<令和5年 2月の主な行事予定>

1日(水) 5時間授業	15日(水) クラブ活動
3日(金) 仮入学(新1年)	17日(金) 参観日(5校時)、学級懇談会
7日(火) 口座振替	21日(火) 学校運営協議会
8日(水) 5時間授業	22日(水) 5時間授業
10日(金) 委員会活動	23日(木) 【祝】天皇誕生日
11日(土) 【祝】建国記念日	

<<学校支援ボランティア活動の紹介>>

本年度もおはなしの会の皆さんによるボランティア活動がはじまりました。早速1年生の教室で、お話の会のみなさんから子どもたちに楽しいお話をしていただきました。

会の皆さんが交代で「三匹のヤギのガラガラドン」「鳥吞爺」



「マーシャとくま」のお話を語ってくださいました。どの子どもお話に熱心に聞き入っていました。



この後、来年2月にかけて各学年でお話の会が開催されます。楽しみです。